

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名( 株式会社BlueResort乗鞍 )

## SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.9.5変更】

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																		
					1 1. 持続可能な開発目標	2 2. 経済成長	3 3. 社会的不平等の削減	4 4. 就業機会と労働条件	5 5. 経済成長と社会的持続可能性	6 6. 清潔で安価なエネルギー	7 7. 持続可能な産業とinnovation	8 8. 温室効果ガスの削減	9 9. 経済成長と社会的持続可能性	10 10. 経済成長と社会的持続可能性	11 11. 経済成長と社会的持続可能性	12 12. 経済成長と社会的持続可能性	13 13. 経済成長と社会的持続可能性	14 14. 経済成長と社会的持続可能性	15 15. 経済成長と社会的持続可能性	16 16. 経済成長と社会的持続可能性	17 17. 経済成長と社会的持続可能性		
人権・労働	<input type="checkbox"/>	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	雇用、教育、昇進・登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築している					5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3				16.1 16.2 16.7				
	<input type="checkbox"/>	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記し研修の実施を行っている					5.1 5.2 5.5				8.5 8.8							16.1			
	<input type="checkbox"/>	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	長時間労働是正のための労働生産性の改善、時間管理、多様な働き方を許容する勤務体制の整備・対応を行っている									8.5 8.8										
	<input type="checkbox"/>	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	現在外国人労働者は在籍していないが、今後の雇用を念頭に整備を開始する				4.4					8.7 8.8		10.2 10.3								
	<input type="checkbox"/>	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	安全パトロールを定期的に実施して問題点を洗い出し、改善状況の確認を行っている			3						8										
	<input type="checkbox"/>	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	メンタルヘルスに関する職場の理解を促進するための研修、及び面談を実施している		3																	
	<input type="checkbox"/>	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	65歳以上の高齢者の継続雇用制度を導入済み。また女性の働きやすい環境の構築を行っている				5.1 5.5					8.5		10.2 10.3								
	<input type="checkbox"/>	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	職務や役割に応じた研修体系を整備し実施している			4	5.5					8	9									
	<input type="checkbox"/>	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	パートタイム労働法・労働契約法等の改正内容理解に努め、体制の整備対応を行う				5.5					8.5		10.2 10.3								
	<input type="checkbox"/>	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	休日時に、自社の施設を利用し運動出来るような体制を整えている		3							8										
環境	<input type="checkbox"/>	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	廃棄物は適正に分別し、廃棄物業者へ委託している														11.6	12.4	14.1			
	<input type="checkbox"/>	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	毎月のエネルギー使用量を算出し推移を把握している									7.3							13			
	<input type="checkbox"/>	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	ペーパーレス化、クリーンエネルギーへの代替を積極的に推進している									7.2 7.3						12.4	13.3			
	<input type="checkbox"/>	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	整備で使用する品目に対し、法令で規制されている有害物質を把握し適切な使用をしている		3.9			6.3									11.6	12.4				

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																
					1 1.7 飢餓	2 2.2 不平等・差別	3 3.9 産業と技術の責任	4 4.1 質的教育	5 5.1 健康と福祉	6 6.1 清潔な水と衛生	7 7.1 エネルギーの供給	8 8.1 労働者権利	9 9.1 産業開発	10 10.1 気候変動	11 11.1 持続可能な都市と居住地	12 12.1 负责任の消費と生産	13 13.1 水資源の持続的利用	14 14.1 生態系の保全	15 15.1 生物多様性	16 16.1 気候変動	17 17.1 水資源の持続的利用
環境	□	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	自社の事業活動により、環境が変わってしまった場合、元の環境に戻すようにしている									6.6							15	
	□	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	施設利用者用の分別ゴミ箱を設置しているが、職員で再度分別を行い正確にリサイクルを行っている														12.5	14.1		
	□	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	水質維持のため、水源地へ薬剤を適切に投入するなどの管理を行っている						6.4 6.6											
	□	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ					3.9		6	7						12	13.3	14	15	
	□	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	【予定】HP等で環境情報を公開予定													12.6				
	□	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】自社で使用する電力の一部をクリーンエネルギーへ変更予定							7.2						13				
	□	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	使用しているレジ袋は、環境配慮型製品を使用している												12.2	13	14	15		
公正な事業慣行	□	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	汚職・贈収賄禁止等を含む行動規範を整備し、社内浸透を図っている															16 16.5		
	□	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	不正競争行為を含む行動規範の整備と社内研修を実施している															16		
	□	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	保護が必要な特許及び商標は知的財産権を取得し管理している						8.3	9										
	□	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	「個人情報に対する基本方針」を定めて、社内研修を行い、情報管理ルールを周知徹底している															16		
	□	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ																16		
	□	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	企業理念、行動指針、関係法令に基づき、公平公正な取引、法令順守等に配慮しながら、お取引先との良い協力関係づくりを目指している					5		8	10		12	13	14	15	16	17		
	□	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本	「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している		3					8	9	10						17		

※「パートナーシップ構築宣言」の作成・公表方法は[こちら](https://www.biz-partnership.jp/)。<https://www.biz-partnership.jp/>

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
					1 1.7 飢餓	2 2.2 気候変動	3 3.9 産業と技術の革新	4 4.1 質的・量的不平等	5 5.1 貧困	6 6.1 水と衛生	7 7.1 エネルギー	8 8.1 労働者権利	9 9.1 産業開発	10 10.1 不平等	11 11.1 不平等	12 12.1 不平等	13 13.1 不平等	14 14.1 不平等	15 15.1 不平等	16 16.1 不平等	17 17.1 不平等
製品・サービス	□	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	自社生産物の使用時に想定されるリスクの洗い出しと対策を実施している			3.9											12.4			
	□	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	お客様アンケートを実施して社内共有するなど、品質を保証する仕組を構築している											9						
	□	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	自社オリジナル製品を作成する場合は、環境に配慮した素材を使用している						6							12	13	14	15	
	□	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】高齢者の健康寿命延命のための環境を提供出来る様に検討している	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
地域貢献・社会貢献	□	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	スキー場として周辺宿への波及効果は大きく、PRも一泊旅行を進めるなどの対策を行い、地域説明会も実施している				4					9		11	12		14	15		17
	□	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	地元の保育園、小学校にシーズン券を無料で配布している			4								11		14	15		17	
	□	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	売店に、極力地域の商品を置く様に配慮している								8	9		11	12	13				
組織体制	□	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	経営理念を明文化し、隨時社員に向けて説明し、共有している								8	9								17
	□	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	法令順守を経営方針に掲げ、法規制の洗出し、遵守確認を隨時実施																16	
	□	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	広報部門と責任者により体制を構築している																16	
	□	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	お客様アンケートやHPの問合せフォームなどにより、隨時お客様の意見を聞き対応している															16	17	
	□	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	お客様アンケートや安全パトロールの評価により、適切な対応を実施している																16	
	□	【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility : 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】CSR方針の策定、CSRマネジメントプロセスの整備を行いたい																16	
	□	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	電子資料に関しては、クラウド上に保存を行っている									9		11	13	13.1			16	
	□	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	後継者候補がいる								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。  
(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGA N Oものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)

○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成

○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載

○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格      ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定